

平成26年度 文書館評価

評価項目1 文書館の利用 県民の共有財産である文書館の収蔵資料の利用、活用を図ります。

測定項目	過年度実績	目標値	実績	現状分析及び 目標値設定	施策	達成状況の分析	次年度以降の改善点	達成率
	H25	H26						
1)登録者数	1,905	1,910	1,931	登録者数と利用者数は増加しているものの、閲覧者数とレファレンス件数はほぼ横ばい、利用点数と検索システムアクセス件数については減少しています。これらの項目については、社会情勢、自治体史編さん事業の有無や進捗状況などに大きく影響を受けるため、一概にこれが原因であるとの特定が難しいところですが、効果的な広報等により文書館の存在や利用方法、収蔵資料への関心を高める努力を続けていく必要があります。 登録者数及びレファレンス件数については過年度実績を、閲覧者数、利用点数、検索システムアクセス件数については平成24年度の実績を目標値としました。また、利用者数については過年度の外交史料館との共催展示の閲覧者数を特別の数値としてとらえて算定をし直したものを参考の目標値といたしました。	引き続き、魅力ある展示、講座を設けるとともに、彩の国だよりでの広報をはじめ、記者発表先の対象拡大や関係機関などへの周知を増やすなどの積極的に重点的な情報提供を行います。 ホームページの充実を図ります。 講座、研修会参加者に対して、文書館利用申請書を配布するなど閲覧者以外の方や県職員にも積極的に文書館をPRしていきます。	登録者、閲覧者数については目標を達成できたものの、その他の項目については目標値を下回ってしまいました。検索システムアクセス件数については、目標を下回ったものの、前年度実績と比較すると若干上回ることができました。 資料の利用点数等の増減は、社会情勢や自治体史の編さん事業などによる影響が大きい部分があり、目標値を下回ったからといって一概に利用が後退しているとは言えません。登録者数と閲覧者数は伸びており、文書館のPR活動の効果も見られることから、引き続き資料の利活用の促進について努力する必要があります。	県の広報紙の紙面の制約により、掲載希望どおりにならないことが増えてきたことから、資料提供先を増やしたり、報道発表の工夫を図ります。 引き続きホームページの内容を充実することで、館の利用につながるよう工夫をしていきます。	101.1%
2)閲覧者数	4,006	4,050	4,190					103.5%
3)利用点数	34,606	39,000	34,086					87.4%
4)レファレンス	1,293	1,295	1,056					81.5%
5)検索システムアクセス件数	77,382	79,000	77,750					98.4%
参考)利用者	18,322	16,400	17,929					109.3%

評価項目2 行政文書の公開 歴史的・文化的に価値ある行政文書を収集・整理し公開することにより、県政の記憶装置として県民の要望に応えます。

測定項目	過年度実績 (公開累積数で表示)	目標値	実績	現状分析及び 目標値設定	施策	達成状況の分析	次年度以降の改善点	達成率
	H25	H26						
行政文書の公開点数	152,331	156,331	160,985	<p>行政文書には、永年(11年以上)保存文書と10年、5年などの保存年限が限られている文書があります。このうち前者は原則として完結後10年を経過した時点で文書館に収蔵されます。また、後者のうち、歴史的・文化的価値の認められる文書は廃棄決定後に文書館に移管されます。その後、個人情報等に配慮して公開するための整備を進めます。</p> <p>新たに収蔵する文書の整理や既収蔵文書の見直しを行い、4,000点の新規公開を目標とします。</p>	<p>文書作成から30年、50年など、定期的に制限を見直し、公開の促進を図ります。</p> <p>研修や庁内広報等により県職員の公文書に対する意識啓発を図ります。</p>	<p>行政文書の公開点数は、8,654点の増となりました。</p> <p>完結後10年を経過した文書及び歴史的資料の移管手続きが順調に進んだこと並びに完結後30年又は50年後に公開を予定して収集した歴史的資料に係る利用協議も円滑に進んだことによりです。</p>	<p>次年度以降も、完結後10年を経過した文書及び歴史的資料の移管手続きを粛々と行い、完結後30年又は50年後に公開を予定して収集した歴史的資料に係る利用協議も円滑に進めていきます。</p>	103.0%

評価項目3 古文書の公開 埼玉県に関する歴史的・文化的に価値ある古文書の整理・公開を促進して県民共有の財産とし、県民の要望に応えます。

測定項目	過年度実績 (公開累積数で表示)	目標値	実績	現状分析及び 目標値設定	施策	達成状況の分析	次年度以降の改善点	達成率
	H25	H26						
古文書の公開点数	401,417	409,417	411,692	<p>古文書は未整理の寄贈・寄託文書に番号を付し、文書目録を作成し、文書目録及びホームページで公開しています。25年度は、収蔵文書目録第53集「諸井(三)家文書」の刊行による公開を行いました。</p> <p>未整理分古文書の整理と目録公開(8000点)を図ります。</p>	<p>整理(目録)計画を見直し、計画的な整理を推進します。</p> <p>次年度目録刊行予定文書の整理を並行して行い、円滑な整理を進めます。</p>	<p>目標値を予定通り達成することができた。</p>	<p>引き続き、未整理分については公開に向けて整理作業を効率的に進めていきたい。</p>	100.6%
報道写真の公開点数	58,100	73,100	76,363	<p>埼玉新聞社から寄贈を受けた埼玉新聞社撮影戦後報道写真は、順次整理し、現在昭和22年から37年までの58,100点を公開しています。</p> <p>平成26年度は、昭和38年～40年分15,000点の公開を目指します。</p>	<p>整理公開計画を見直し、計画的な整理公開を推進します。</p>	<p>目標値を予定通り達成することができた。</p>	<p>引き続き、未整理分については公開に向けて整理作業を効率的に進めていきたい。</p>	104.5%

評価項目4 地図資料の公開 埼玉県に関わる地図資料を収集して、整理、公開を進め県民共有の財産として公開します。

測定項目	過年度実績 (公開累積数で表示)	目標値	実績	現状分析及び 目標値設定	施策	達成状況の分析	次年度以降の改善点	達成率
	H25	H26						
地図資料の公開点数	73,616	75,316	74,917	県作成地図及び市町村作成地図については、毎年寄贈依頼を出して収集し、整理・公開を行っています。また、埼玉県に関する国土地理院作成の地図等についても収集し、整理・公開を行っています。 整理公開点数を累計75,316点とします。	県作成地図は、紙地図・電子地図の発行状況を把握し、収集資料の確保に努めます。 市町村の協力を得て、市町村作成地図の収集に努めます。 スペースの確保に努めます。	県作成地図、市町村作成地図等について、寄贈依頼を行い、収集・整理・公開を進めましたが、相手方の都合もあって、整理公開点数の増は、若干、目標値を下回りました。	次年度以降も、県作成地図及び市町村作成地図については、引き続き寄贈依頼を出して収集し、整理・公開を行っていきます。 また、関係各所にも個別に依頼し、埼玉県に関する地図の収集を進めていきます。	99.5%

評価項目5 史料叢書の刊行及び県史編さん資料の整理公開 郷土埼玉に関する貴重な史料を刊行するとともに県史編さん資料を整理し公開します。

測定項目	過年度実績	目標値	実績	現状分析及び 目標値設定	施策	達成状況の分析	次年度以降の改善点	達成率
	H25	H26						
1) 史料叢書の刊行	埼玉県史料叢書12中世新出重要史料二	第17巻埼玉県布達集一	第17巻埼玉県布達集一	刊行計画に基づき「埼玉県史料叢書」の刊行を進めています。 埼玉県史料叢書17「埼玉県布達集一」を刊行します。	編集会議、編集員と綿密な連絡調整を行い、刊行に向けたスケジュールの調整を行います。 次年度以降の刊行準備を行います。	目標値を予定通り達成することができた。	目標値を予定通り達成することができた。	100.0%
2) 県史編さん資料(写真資料等)の公開点数 (公開累積数で表示)	13,761	15,761	15,761	県史編さん資料の整理・公開は、写真資料が主体ですが、平成21年度は拓本資料の公開点数を含みます。 県史編さん資料(写真資料等)は、2,000点以上を整理・公開し、累計15,000点以上とします。				100.0%

評価項目6 収蔵資料の保存 県民共有の財産である古文書・行政文書などの資料を後世に伝えていくため、良好な状態で保存し、収蔵資料の劣化を防止します。

測定項目	過年度実績	目標値	実績	現状分析及び 目標値設定	施策	達成状況の分析	次年度以降の改善点	達成率
	H25	H26						
1)古文書：修復(枚)	134	150	114	<p>例年、劣化の激しく利用できない文書1枚前後の修復をします。</p> <p>古文書の修復・複写本の作成・古文書のマイクロ化は前年とほぼ同じ目標値とします。</p> <p>彩の国デジタルスキップステーションにおける埼玉新聞社撮影戦後報道写真のデジタル画像の公開を計画的に実施します。</p> <p>今年度は30点のデジタル画像の追加提供・公開を目標とします。</p>	<p>古文書の修復をすることにより閲覧できる状態にし、利用者の利便性を図ります。</p> <p>埼玉新聞社撮影戦後報道写真のデジタル画像データを彩の国デジタルスキップステーションへ提供し、同所で公開します。</p>	<p>実績の丁数では、目標に達することはできなかった。</p> <p>報道写真デジタル化については、目標値を予定通り達成することができた。</p>	<p>古文書の補修については、扱う古文書の傷み具合により、掛かる日数も変わってくる。ボランティアの負担を工夫し、効率よく目標値達成することができるよう進めていきたい。また、ボランティアの参加率も上げたい。</p> <p>引き続き、目標値を達成できるよう進めていきたい。</p>	76.0%
2)古文書：報道写真デジタル化(点)	736(累計)	766	30					100.0%
3)行政文書：重要文化財指定文書の複製化(冊)(コマ)	235 (99,638コマ)	234 (77,900コマ)	190 (77,654コマ)	<p>重要文化財に指定されている明治から昭和戦前期11,259点について、マイクロフィルム撮影による複製化を計画的に実施しています。</p> <p>明治期及び昭和戦中期の行政文書が終了し、現在は大正・昭和戦前期分について計画的に複製化を進めています。</p> <p>前年度の契約実績や文書課から執行委任された予算を勘案し、撮影コマ数、原本簿冊ともに増加を目指します。</p>	<p>電子データに変換し、閲覧利用に供することにより、原本の利用を制限し、保存と利用の調整を図ります。</p>	<p>指名競争入札を行った結果、契約単価は前年度より上昇しました。そのため原本簿冊、撮影コマ数とも、若干、目標値に届きませんでした。</p>	<p>次年度以降も肅々と指名競争入札を行い、計画に沿った複製化を推進していきます。</p>	81.2% (99.7%)

評価項目7 文書館の普及、連携、協力活動 行政文書・古文書・地図等の収蔵資料を活用した講座・講習会及び子ども体験事業を通じて、県民の学習意欲と理解を深め、文書館の利用を促します。

測定項目		過年度実績	目標値	実績	現状分析及び 目標値設定	施策	達成状況の分析	次年度以降の改善点	達成率
		H25	H26						
1) 講座、普及事業	回数	32	32	32	古文書講座入門編、初級編、中級編、古文書解読講習会、地図教室、歴史講座(久喜市と共催)、文書資料取扱講習会、子ども体験教室、子ども地図教室、いろは教室、県民の日アーカイブズ、計32回の普及事業を開催しました。昨年度並の目標値としました。教員対象研修会のほか、職場体験学習(中学生)、学習支援(受入、出前授業)、大学ゼミ、博物館実習を受け入れました。昨年度並みの目標値としました。古文書補修、子ども事業のボランティアを受け入れました。実施回数は昨年度と同じでしたが、延べ人数については、ボランティア登録者が少なくなったため、例年度並の目標値としました。	彩の国だよりをはじめ、催物案内、ちらし等への掲載並びに広報範囲を拡大するなど積極的に広報活動を行います。過年度のアンケート結果を生かした県民のニーズにあった普及・連携事業を開催します。教員向けの研修会や学校への講師派遣活動を積極的に行い、児童生徒の学力向上に努めます。また、大学生等の受け入れ機会を増やし、学校連携の強化に努めます。ボランティアの受入を積極的に行い、充実した事業に努めます。	目標値を達成することができなかった。	平成26年度から県民の日アーカイブズの定員が300名から150名に変更になったため(会場の関係)、目標値を変更する必要がある。さらに充足率を上げるため、古文書講座もキャンセルが出た場合は、補充をするなどの方向で検討したい。	93.8%
	人数	1,473	1,400	1,313					
2) 学校との連携事業	回数	40	40	40					
	人数	803	800	1,156					
3) ボランティア活動 古文書補修	回数	40	40	39(台風による中止1回)					
	延人数	376	376	340					
3) ボランティア活動 子ども事業	回数	12	12	12					
	延人数	48	48	63					

評価項目8 展示 収蔵資料を利用・活用してもらう導入部分として常設展示、コーナー展示をそれぞれ開催します。

測定項目		過年度実績	目標値	実績	現状分析及び 目標値設定	施策	達成状況の分析	次年度以降の改善点	達成率
		H25	H26						
年間観覧者数(人)		10,135	8,600	8,755	コーナー展示は、年4回行います。歴史と民俗の博物館と同時開催の「っぽん歴史街道をコーナー展示「諸井(三)家文書」の中で開催すること、年度末に中世文書の展示を行いました。1日平均観覧者数30人を目標値としました。	文書館の貴重な広報機会として、報道機関に積極的に広報します。HP以外での広報の実施を行います。展示にリンクしたイベントを開催します。	観覧者数は、ほぼ目標値を少し上回る数値となった。歴史と民俗の博物館と同時開催の「っぽん歴史街道をコーナー展示「諸井(三)家文書」では、研究者や関係者の来館がみられたことが大きい。	今後も当館の収蔵文書を中心に、話題性の高い展示を企画したい。	101.8%